社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	牛久市安全・安心な都市公園づくり（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	牛久市											
計画の目標	<p>本市には開設後30年以上経過した都市公園が多く、老朽化により安全確保が難しい公園施設が増えてきている。牛久市公園施設長寿命化計画に基づき老朽化した公園施設の改築・更新を行い、地域交流の場としてさらに多くの市民に利用されるよう、公園利用者の利便性・快適性の向上を図る。</p> <p>また、本整備計画の事業の一つである牛久運動公園は、「茨城県地域防災計画」において、災害時の地域防災拠点として位置付けられており、県内における広域的かつ総合的な防災拠点として避難所や自衛隊及び緊急消防援助隊、広域警察の受け入れ施設として、地域の防災体制を確立している。牛久市では全国的に増加傾向にある自然災害等を踏まえ、老朽化した公園施設の改築・更新を実施し、自然災害等における避難地及び防災拠点としての機能強化を図る。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	252	A	252	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	牛久市公園施設長寿命化計画において平成30年度～平成32年度の期間内に改築・更新が必要と位置付けられた施設（8施設）について、改築・更新を行う。 改築・更新済みの公園施設の割合（％） （改築・更新済みの公園施設数） / （長寿命化計画に平成30年度～平成32年度の期間内に改築・更新が必要と位置付けられた公園施設数（8施設））	0%	87%	100%

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
H30年度公園施設長寿命化計画策定														

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

牛久市建設部都市計画課において事後評価を実施

事後評価の実施時期

事業完了後

公表の方法

市ホームページにおいて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

老朽化した公園施設の更新を計画的に進めることで誰もが安全で安心して利用できる快適な公園を保つことができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

今後も牛久市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設の更新を計画的に進めていく。